

## 追 憶

屋島の木々が、萌黄色に染まる3月に、屋島やすらぎを退職しました。

デイサービスに配属され、送迎のハンドルを握って17年間、無事故で終えた事は、無上の光栄です。

多くの方に、ご指導いただきました事を、重ねて感謝申し上げます。

車の送迎がしばらく続いた時、デイサービス送迎車の心得を自問自答し、「デイサービスの顔になろう」と決心しました。

ルンルン気分はもつての外、緊張感を持ち、安全運転を心掛け、笑顔で挨拶しました。

普段あまり笑顔を見せない私は、利用者さんに笑顔で接した分、デイの職員に不躰で怒っていると思われるかとも、反省しています。

四季折々の行事がありました。

春	:	総会
夏	:	夏まつり
秋	:	親睦旅行
冬	:	新年会



一番の思い出は、夏まつりでした。

なぜなら、朝早く職員総出で準備し、来場者を出迎え、あっという間の2時間も過ぎ、やったー！という充実感がたまらなく好きでした。

譲り受けた、流しそうめんの竹をナタで割き、職員がカンナ、ペーパー等で滑らかに仕上げを手伝ってくれ、心ひとつになれた事は嬉しかったです。

(確か、数年前から藤目青年会が作業を引き継いでいます。)

また、チャオバンドが夏まつりに参加して、一役買ってくれています。

飛び入りで、マイクを片手に歌ったことが、昨日のように思い出されます。

懐かしい日々は、帰らず

楽しかった思い出を胸に、お別れします。

皆さんも、健康に気をつけて、ご活躍下さい。

最後になりましたが、屋島やすらぎの益々のご発展を、心よりご祈念申し上げ、挨拶といたします。ありがとうございました。



令和3年4月6日 鳴瀬 一男